

サーカス工房大作戦
『わくわくサーカス』（7月20日）リサイクルまつり 02イン登別・白老
『ペットボトルロケット』（7月4日）

うれしい市民文芸『のぼりべつ』の復刊

市民文芸『のぼりべつ』は、平成4年の30号より諸般の事情から休刊してまいりました。

その後も、編集に携わっていた方や、市民の方が集まって旧交を温め合う度に、必ず話題になるのが文芸誌復刊のことでありました。平成12年、就任した小林正明会長の文芸誌に寄せる熱い思いと重なり、今年4月、実に10年ぶりの発行となりました。投稿者が137人にものぼったことは、市民の多くの方々が深い思いで待っていてくださった証しであり、ただただ感謝感激でいっぱいでもあります。

時代がいかに変化しても、人間の心を言語で表現する『活字文化』を通しての市民の方々の出会いを

前略2003年の私

パソコンに魅せられて

えとうきくじ
富士町/江藤菊治さん(78歳)

私がパソコンに出会い手に触れたのは、平成13年6月『IT講習会』を受講したときでした。それ以来興味をもち図書館に通うようになりました。

同年11月に地域情報センターが開設されたので日参するようになりました。

パズルを解くようにパソコンを開き、それを操作していく過程の複雑な面白さやソフトを覚えたときの喜びと感動は、ひとしおのものがありません。

現在、学習しているソフトは『XGワークス』ですが、楽譜を挿入して編曲したり、キーボードで演奏編曲したりしています。楽しく毎日通っていますが、地域情報センターには色々な機種があり、またそれに対応した参考書があること、それらを運営管理する人たちが親切に対応していることなどが要因となっていると思います。

2003年3月には79歳になりますが、いろいろなソフトに挑戦して未知の世界を探したいと思っています。

ひみなさんで見てください。

これからも、より充実した文芸誌を目指し息長く発行し続けたいと存じますので、市民の方々のご支援、ご協力をお願いします。
(登別東町/小林碧水さん・登別市文化協会副会長)

けっぱれ！登別観光

2002年の元旦は、テレビ朝日の『新春湯けむり生中継』でした。地元の高校生、まつり委員会のメンバーなど大勢の出演協力を得て、元旦から登別温泉を全国にPRしました。

2003年2月2日は、NHKBS2『おーいニッポン』で登別温泉湯まつりが生中継で全国に紹介されることになっています。ぜ

知名度が上がり、イメージアップが図られ、登別の素晴らしさが再認識されて、観光客の入り込みもはるちゃん人気で徐々に増えてまいります。

はるちゃんの明るさ、優しさ、常に前向きに頑張る姿に、人生への勇気をいただきました。

元気を出して2003年、けっぱれ！登別観光。余力は十分、今年も忙しい年にしなければならぬ。

(登別東町/小澤隆信さん・登別観光協会事務局長・56歳)